

令和8年度にいただいたご意見・回答

日付	分野	生活環境・資源循環
4月28日	ご意見	荘川町六厩の産廃最終処分場について高山市は反対の意向を示されているかと思いますが、岐阜県への働きかけは行っているもののでしょうか。荘川の問題ではなく、高山市の問題 岐阜県の問題として捉えるべき案件だと思います。
	回答	この度は、荘川町六厩の産業廃棄物最終処分場計画についてご意見をありがとうございます。市では、昨年11月に建設反対を表明し、建設計画の白紙撤回に向けて、法的・科学的根拠に基づいた対策を行っているところです。 お尋ねの「岐阜県への働きかけ」につきましては、県条例に基づく事業計画に対する市への意見照会の際には、「適地ではない」とする市の意見を提出してまいりました。 また、折々の機会を捉え、県知事等に「適地ではない」「建設に反対である」ことを伝えています。市では今後、産業廃棄物問題に精通した弁護士や学識経験者への相談、市独自の建設計画の検証や環境影響調査の実施などを行い、法的・科学的根拠に基づいた市の意見を県へ提出する予定です。 2点目の「荘川の問題ではなく、高山市の問題 岐阜県の問題として捉えるべき案件だ」につきましては、大変心強いお言葉だと受け止めさせていただきました。 決して荘川だけの問題ではありませんので、市では、広報たかやま臨時特集号の発行やYouTube等の各種SNSをとおして、事業計画や問題点・懸念などを継続的に情報発信し、多くの方に知っていただくよう努めているところです。 先日、市民の方々による「荘川六厩産廃処分場計画対策協議会」「高山の自然を壊す産廃建設計画に反対する市民の会」が相次いで設立されました。また、「庄川流域六厩産廃処分場計画対策協議会」「飛越7漁協河川環境保全連盟」など、市・県を越えた皆さまからも、それぞれのお立場から反対の思いが寄せられており、その声を計画の許可権者である岐阜県に届けるよう要望をいただいています。 市では、地域住民等や市議会、富山県も含む庄川流域の各自治体等と連携しながら、この問題に取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。

	ご意見	ごみの分別・回収に関する意見です。 A「資源ごみ拠点集積所」を利用したときに、以下の困ったことがありました。 ・担当者が、コイン電池とボタン電池を区別できず、コイン電池の回収をしていないといわれました。 ⇒ 資源ごみ拠点集積所の担当者？の選出・教育をお願いしたいです。 ・様々な大きさの雑誌(地図、資料、メモ用紙)をプラ袋に入れて出そうとしたら、縛らないとだめだと言われました。大きさが様々なので縛りにくいのですが、袋に入れた状態ではだせないのですか？ ⇒ 出し方が分かり難いごみについて、出し方の具体例を分かりやすく示してほしいです。 ・トレイの出し方ですが、スーパーの回収では、PSPの柄トレイをプラごみとして回収拒否するところがあります。市では回収可能であるとしていることを確認したいです。 ・発泡スチロールの回収ですが、「発泡ポリエチレン」「発泡ポリプロピレン」との違いを分かりやすく示してほしいです。 B 資源リサイクルセンターに関する意見 ・「資源リサイクルセンター」の受け入れ時間を「高山市のごみの分け方・出し方」にも記載してほしいです。 ・「高山市のごみの分け方・出し方」の「⑧小型家電の出し方」に「ごみ処理施設」とありますが、ごみの種類ごとの回収建屋が並んでいるところのことでしょうか。これが「不用品リフォームセンター」なんのでしょうか。そこに、可燃ごみ、不燃ごみ等の各種ごみも出せるようになっていることと、回収車による回収と同じで有料であることを分かりやすく明示してほしいです。 日頃からごみの分別にご協力をいただき、誠にありがとうございます。 ホームページに問い合わせいただきました件について回答いたします。 A「資源ごみ拠点集積所」のご利用について ①資源ごみ拠点集積所の従事者への指導 資源ごみ拠点集積所ではコイン電池の回収を行っております。この度は、コイン電池の回収について誤った説明によりご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。 再度、従事者に対し分別教育を行うとともに、利用者への分かりやすい説明や丁寧な対応を行うよう指導いたします。 ②雑誌・雑誌の出し方 拠点集積所に出していただく雑誌・雑誌については、集積所での保管や運搬等に支障が出るため紐等で縛って出させていただきますようご 協力をお願いいたします。 出し方が分かり難いごみについては、今後、「高山市のごみの分け方・出し方」等に具体例を示すなど検討させていただきます。 ③発泡スチロールの回収 発泡ポリスチレン(PSP)の柄トレイは資源ごみ拠点集積所で回収しています。 発泡スチロールの素材である、発泡ポリエチレン(EPE)や発泡ポリプロピレン(EPP/PPP)は混同しやすく、分別の難しいごみ種類です。 出し方の参考となるよう、ホームページや拠点集積所にサンプル例示することなどを検討させていただきます。 回答 B「資源リサイクルセンターに関する意見」について ①受け入れ時間の記載 資源リサイクルセンターの受け入れ時間につきましては、「高山市のごみの分け方・出し方」の最後の頁に記載しておりますのでご確認くださいませようをお願いいたします。 ②小型家電の回収場所 資源リサイクルセンターでの小型家電の回収場所は、資源リサイクルセンター敷地内の資源ごみ拠点集積所(ごみの種類ごとに回収建屋が並んでいる場所)にて行っております。 「高山市のごみの分け方・出し方」内での「ごみ処理施設」という表記については、今後、市民の方に分かりやすい表記に修正します。 また資源ごみ拠点集積所で回収を行っているごみの種類や、料金の有無などについて、分かりやすい表示方法等について検討します。 この度は、ごみの分け方や出し方について、ご意見等をいただきありがとうございました。 その他ご不明な点がございましたら、下記までご連絡いただきますようお願いいたします。 担当部署: 森林・環境政策部 生活環境課 資源リサイクルセンター TEL 0577-35-1244
6月17日	回答	

6月29日	ご意見	住民票等を発行するのになぜ費用が発生するのか。企業側が要求する資料をそろえているだけなのに個人負担となっていることがおかしい。市役所の駐車料金を無料にするなら証明書発行も無料にするべき。また現金のみはおかしい。 出生届提出時にごみ処理シールを増刷するくらいなら、東京のようにオムツ券を発行してほしい。普段からごみ減量に努めているのでシール増刷されても使用せずごみになる。
	回答	この度は住民票の発行手数料及び出生届提出時のごみシール追加配布に関するご意見をいただき、ありがとうございます。 日常の行政手続きやごみシール配布に関するご意見は、市民の皆さまの生活実感として真摯に受け止めています。 ・住民票について 住民票の作成・交付には、偽造防止を施した専用用紙の準備・印刷・データ処理などの一定の費用がかかります。 住民票を会社などに提出する場合でも、手続きをすすめるうえで必要なご本人の書類として交付することから、それらの費用を賄うために手数料をいただいています。 なお、住民票は現金のほか、電子地域通貨「さるぼぼコイン」でもお支払いいただけますので、ご利用ください。 ・ごみシール配布について 日頃からごみ減量に努めていただき感謝申し上げます。 転入や出生など世帯員の増加の際には、追加分のごみシールを配布しており、ご意見いただいたオムツ券の件につきましては、お子さんの出生時に配付するごみシールと同じコストでのオムツ券への代替は困難と捉えていますが、いただいたご意見を今後の参考とさせていただきます。 なお、現在市では子育て支援金の支給、高校生までの医療費や小中学校の給食費の無償化などを実施しており、引き続き子育てしやすいまちの実現に向けて、子育てにかかる費用負担の軽減などに努めてまいります。

7月12日	ご意見	庄川源流(岐阜県高山市荘川町六厩)の産業廃棄物処分場の建設計画について、インスタで流れてきました。 最初はフェイクニュースだと思っていたのですが、岐阜県高山市のホームページにも記載があり、実際に計画があるように見受けられましたが、この、ニュースは、高山市内でもきちんと報道されていますでしょうか？ 建設されてから、高山市内や、庄川下流域で、公害が発生し、それからニュースや議論になるのでは遅いと、いま、とても心配と不安を抱えています。 安全性を疑う余地もない計画であっても、もし本当に建設されるなら、多くの高山市民、岐阜県民、下流域の富山県民に、知ってもらい、判断、納得した上で建設計画を進めて欲しいと思っています。 この件に関する方針や真偽など、よければ教えていただけませんか。 庄川下流域の南砺市出身、東京在住の者です。縁のある地区の将来の環境や、友人含めた地域住民の人命への被害が起きないように、願っています。
	回答	高山市生活環境課から回答させていただきます。 この度は、高山市荘川町六厩における産業廃棄物処分場建設計画について、ご意見をお寄せいただきましてありがとうございます。 この事業計画は、事業者(富山市)から岐阜県へ提出され、現在、岐阜県において、「岐阜県産業廃棄物処理施設の設置に係る手続の適正化等に関する条例」及び「岐阜県環境影響評価条例」に基づき審査・手続が進められています。 この手続にあたっては、岐阜県は関係市町村長の意見を聴くこととされており、これまで高山市は岐阜県に対し、積雪寒冷地などの気候、断層からの距離、住宅地への近接、下流域の水利用など、当地域が産業廃棄物最終処分場の建設地として「適地ではない」ことを一貫して伝えてきました。 しかしながら、手続が進む状況において、地域住民等の不安が増してきたことや高山市議会の意見等を踏まえ、これ以上、建設計画が進まないよう、地域住民等や高山市議会とともにこの問題に取り組むため、令和7年11月に「建設反対」を表明し、「建設の白紙撤回」に向け、法的・科学的根拠に基づいた対策等を実施しているところです。 また、高山市では、この問題について多くの方に知っていただくため、広報たかやま臨時号や高山市公式YouTubeチャンネルなどを通じ、事業概要や懸念事項などをお伝えしています。 さらには、庄川流域6自治体(白川村、南砺市、砺波市、射水市、高岡市、高山市)の首長会議を開催し、情報共有、意見交換や現地視察を行っており、引き続き庄川流域の各自治体と連携して対応してまいります。 なお、建設反対の署名活動や岐阜県への意見書提出などの活動を行っている団体からも、それぞれのお立場から反対の思いが寄せられています。 高山市では、許可権者である岐阜県への意見提出に際しては、市民の皆様をはじめ、関係地域・団体の皆様の思いとともに、市の意見を確実に伝えてまいりますので、よろしくお願いいたします。

7月23日	ご意見	いつも仕事で宿泊しておりお世話になっております。 帰る際には野菜や果物を買わせていただいております。 さて、高山市で市があらたにゴミ箱を設置したと見てご提案です。 「古い街並みの景観をなるべく乱さず、食べ歩きをするオーバーツーリズムと多様性を持つ観光客のゴミ問題対策」として添付させていただきました。 多くのゴミ箱を設置することは景観を乱し、しかし食べ歩くという特徴の観光客にその辺で捨てられたら困る、ただ飲食店も「自身でゴミ箱を設置すると他の店のごみも捨てられ、またゴミは処理コストがかかる」という背景を考慮しました。IoTを活用し”ゴミ箱でいっぱいになったらシステムに通知が来て回収に行ける”というタイプを用い効率化、飲食店が商品にQRなどデジタルコードを付けることでそれを読み取らないとゴミ箱が開かないシステムを用いて犯罪や家庭ごみの混入防止、なるべく少ないゴミ箱にするためゲーム形式のように町中の拠点ゴミ箱(ホットスポット)に誘導させる。そこで捨てるとアプリやスタンプでポイントがたまり、別の高山市の店で使えるクーポン、もしくは特別なさるぼぼと交換できるなど、あるキャラクターの恩恵が得られるなど更なる観光の活性化。 市も、協力してもらえる店には協力店として認定して広報などで市もPR、そこには少し補助金を与え、店も少し商品を値上げしてもらってコスト対策。 高齢な方にも店から紙方式でスタンプカードなどを渡してもらえればOKになる。ご検討ください。
	回答	この度は、ゴミ問題対策についてご提案いただきましてありがとうございます。 これまで本市では、「ごみの持ち帰り」を基本的な考え方として、市街地に公共のゴミ箱を設置せず、市民、事業者、土地所有者や市が協働して、環境美化に取り組んできました。 一方で、近年、市街地にゴミが捨てられている状況が見受けられることから、「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な地域の実現に向け、宿泊税や観光庁の補助金を活用し、観光回遊エリア(古い町並付近)にスマートゴミ箱(SmaGo)を設置し、その効果や課題を検証する試行運用を7月17日から開始しました。 現在のところ、「ごみの持ち帰り」を基本とする考え方に変更はありません。 ご提案いただいた内容につきましては、今後のあり方を検討するなかで、参考にさせていただきたいと存じます。 具体的な施策を現状や課題を基に考察しご提案いただきましたこと、感謝申し上げます。 今後とも市の環境美化・市政にご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。